MSL Image Explorer

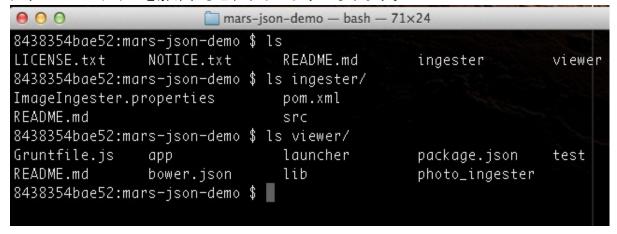
デモをダウンロードしていただき、ありがとうございます。このチュートリアルでは、MSL Image Explorer の 背後で実行される動作について説明します。このアプリケーションを使用して、NASA ジェット推進研究所が 発行した火星の画像を簡単に保存してインデックスを作成することができます。このアプリケーションを使用 する過程で、いくつかの DynamoDB API 呼び出しの使用方法について説明します。そして、JavaScript のコード スニペットを紹介します。また、このアプリケーションには、DynamoDB に JSON データを保存する方法を示 すサンプル Java アプリケーションも用意されています。

開始する前に、ご利用のマシンで以下がサポートされている必要があります。

- a) Java 1.7+
- b) NodeJS
- c) Maven

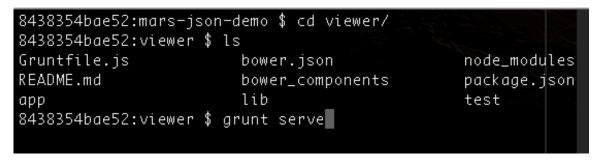
エクスプローラを使用する

- 1) デモのファイルをすべてダウンロードします。
 - a. オプション1、GitHubから取得できます git clone https://github.com/awslabs/aws-dynamodb-mars-json-demo.git
 - b. オプション 2、この リンクからダウンロードできます
- 2) すべてのファイルを解凍すると、以下のようになります。

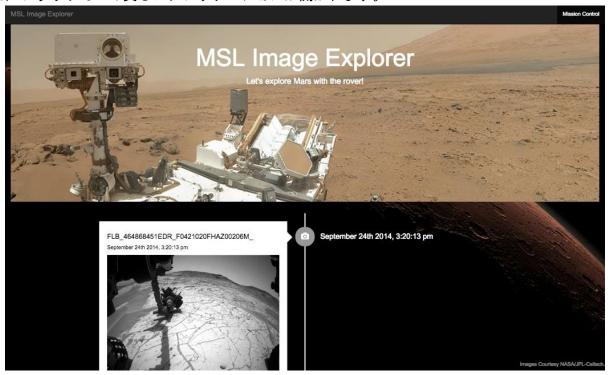


- 3)以下のコマンドを使用して、アプリケーションをビルドします。
 - a. Image Ingester ./Ingester フォルダに移動して、次のコマンドを実行します。 mvn clean install
 - b. Image Viewer ./viewer ディレクトリに移動して、次のコマンドを実行します。
 sudo npm install -g grunt-cli bower
 npm install
 bower install
- 4) アプリケーションを起動する前に、./ingester/ フォルダの ImageIngester.properties というプロパティファイルを確認します。特徴的な設定を以下に示します。
 - a. JSON.root これは、JSON の読み取り元を定義します。2 つの URL が事前定義されており、一方をコメントアウトし、もう一方をコメントアウトせずに残すことで、どちらか 1 つを選択できます。
 - b. dynamodb.endpoint これは、DynamoDB クライアントが接続するエンドポイントです。テーブルは、エンドポイントが提供するリージョンに配置されます。エンドポイントがhttp://localhost:8000 に設定されている場合は、DynamoDB Local、(DynamoDB の無料のクライアント側のバージョン)を指します。この設定は、クラウドでデモアプリケーションを実行する際に必要に応じて変更できます。

- c. dynamodb.resource、dynamodb.image これらは、リソースと画像の DynamoDB テーブルの テーブル名です。画像のテーブルは必須で、リソースのテーブルは ingester.track-resources オプションを有効にした場合に必須です。
- d. ingester.store-thumbnails true に設定した場合、DynamoDB にサムネイルデータが保存されます。これは、データベースに大きなアイテムを保存するときに役立ちます。
- e. ingester.manifest.threads、ingester.sol.threads、ingester.image.threads タスクごとに実行されるスレッドの数。これらの数は、コストと時間のバランスをとるため、テーブルのコンピューティング能力やプロビジョニングされたスループットに基づいて微調整できます。
- 5) これで、アプリケーションを起動する準備ができました。すべてのダウンロードファイルが置かれたディレクトリに戻ります。"grunt" コマンドを使用して、Mars Image Explorer アプリケーションを起動します。

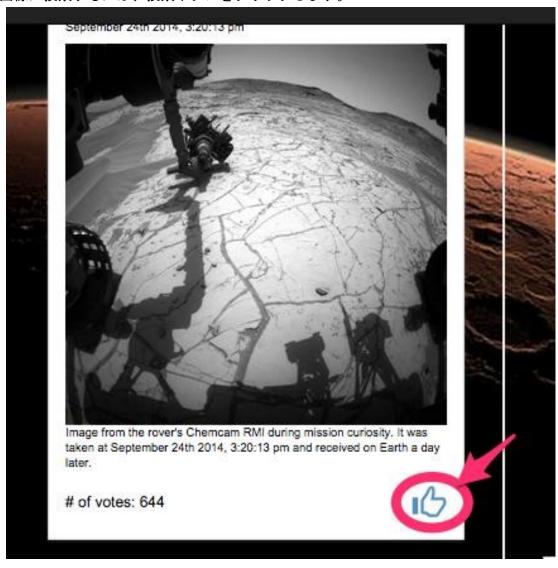


6) ブラウザでこの美しいアプリケーションが開かれます。



- 7) viewer/app/scripts/services/mars-photos.js というファイルで以下のコードスニペットを参照できます。
- 8) これで、エクスプローラアプリケーションから参照できる画像を制御できます。
 - a. 異なる方法を選択するには、"Mission control □ Select Instrument" に移動します。
 - b. 背後で実行されているコードスニペットは以下のとおりです。

- c. 更新の方法を確認するには、気に入った画像に投票します。
- d. 画像に投票するには、投票ボタンをクリックします。



e. 投票するたびに、背後で更新のコードが実行されます。以下のようになります。

f. 同様に条件付き更新も簡単に記述できます。複数回投票しないようにする場合、テーブルでユーザーの投票を追跡し、ユーザーが特定の画像に投票したかどうかをテーブルで確認します。コードスニペットは以下のとおりです。

```
item.userid = userid;
var params = {
    TableName: 'userVotes',
    Item: item,
    Expected: [
    AWS.dynamoDB.Condition('imageid', 'NULL')
};
logRequest('putItem', params);
AWS.dynamoDB.putItem(params, function(error) {
    if (!error) {
        $log.debug('Liked image successfully');
        incrementVotesCount(photo.imageid, callback);
        if(error.code === 'ConditionalCheckFailedException'){
            callback('You have already voted on this image');
         else (
            $log.error(error);
```

MSL Image Explorer アプリケーションと DynamoDB コマンドの使用を楽しんでいただけたでしょうか。DynamoDB のヘルプと取扱い説明書については、『開発者ガイド.』を参照してください。